

川上ダム自然環境保全委員会 議事要旨

1 日 時：令和元年7月4日（木） 14：00～16：30

2 場 所：独立行政法人水資源機構川上ダム建設所 ふれあいホール

3 委 員

委員長	池淵周一	京都大学名誉教授
委 員	江崎保男	兵庫県立コウノトリの郷公園園長
	海老瀬潜一	元摂南大学教授
	角哲也	京都大学防災研究所水資源環境研究センター教授（欠席）
	藤井伸二	人間環境大学人間環境学部人間環境学科准教授
	松井正文	京都大学名誉教授
	森下郁子	一般社団法人淡水生物研究所所長

（五十音順）

4 議事要旨

事務局より資料に基づき説明を受け、川上ダムにおける環境保全への取り組みが進められていることを確認した。指導・助言の内容は次のとおり。

- 貯水池の存在による水質の変化については、水温の低下にも注意して、選択取水設備の運用等を検討すべきである。インパクト・レスポンスフローの「水温の上昇」を「水温の変化」に修正すること。
- 自然環境では保全が難しいコガマの取り扱いについて再検討していくことにする。
- 洪水時の水質調査は、貴重な情報が得られるため、湛水前まで調査を継続すべきである。
- 今後の環境保全への進め方において、「植物のモニタリング調査の実施」を「植物のモニタリング調査及び本移植の実施」に修正すること。
- これまで取り組んできた環境保全の全体像に加え、新たに生み出される貯水池を含む川上ダムを、地域住民の参加を含めて、資産としてどう活かしていくかなどの課題について検討する必要がある。

以 上